

省エネ法 完全対応の エネルギー管理 CO2排出量算出システム

reporE

について

repoe (リポイー) を一行で表現すると…

省エネ法の定期報告書作成からCO2排出量の算出・管理を一元化できるツール

です。

サービスWEBサイト：<https://repoe.shado-inc.co.jp/>

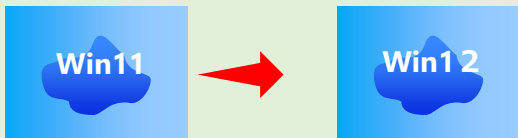
動画チャンネル：<https://www.youtube.com/@S-Lord-y8s>

お客様の要望に合わせて、進化し続ける

15年間続く、エネルギー管理システムです

クラウド提供型/月額利用のASPサービスです

PCへのインストール不要、AWSクラウド上サービスです！
インターネット環境があればどこからでも利用可能です！
ソフトウェアのアップデートやPC交換時のメンテナンス等が不要です！
また、社内標準OSが変わった場合でも、対応の必要がありません！

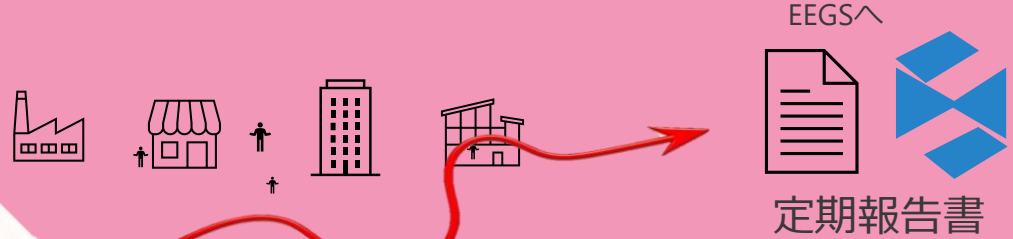


そのまま移行!!
→システム改修費=0円



省エネ法の定期報告書を自動作成

電気、他エネルギー、**非化石エネルギー**は省エネ法に準拠して集計・演算・変換します。
電気の平準化時間帯の集計/変換もちろん自動で行います。



とにかく全て自動計算。

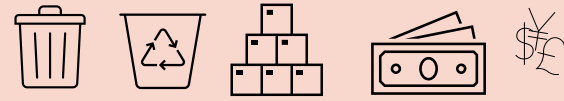
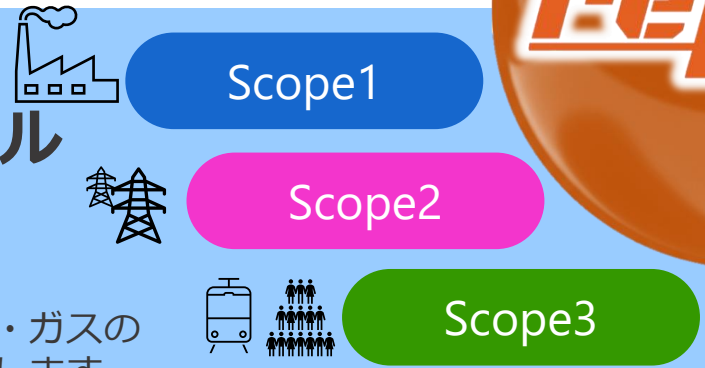


GHGプロトコル

(サプライチェーン排出量)にも対応!!!

当然、毎年変わる電気・ガスの係数もシステムが管理します

CO2の計算もお任せ下さい!



様々なデータから



数値なら何でも「管理」

repoEとは

エネルギー使用量の入力だけで

省エネ法の定期報告を簡単に！

事業者の負担を減らすはずが手間を増やしている

EEGSに頼らず 報告作成が可能に！

CO₂排出量を継続して把握できる

入力したデータは省エネ法・温対法の報告だけでなく、
自社/部門毎等のCO₂排出量把握に活用できる

月額利用の
エネルギー管理
WEBサイトです！

『わが社のCO₂排出量は？』

←この質問に
即答できます



導入実績

エンドユーザー数	:	約300社
登録拠点数	:	約6000拠点超
OEM提供社数	:	延べ10社以上（現4社）

2011年のスタート以来、多くのお客様にご利用頂いており、また「滅多に解約に至らない」のも大きな特徴です。

EEGSを使った定期報告の問題点

EEGSを1度でも使った事があれば、EEGSを使った報告が
どれだけ大変かよくご存じかと思います。

問題点 1

そもそもEEGSだ
けで完結しない

報告にしか使わないツールなのに、報告作成のために別のエクセルツール等を併用する必要があります。

問題点 2

UIが
わかりにくい

どこから入力したら良いかわからない、閉じられている表示を開く方法がわかりにくい等、様々な声が上がっています

問題点 3

多拠点
を想定していない

元々「工場」が対象の省エネ法をベースに考慮しているせいか、全国に多くの支店を持つ企業には使い辛い構成です

問題点 4

バグや係数修正
があるとやりな
おし

係数変更やバグの修正が入るだけで、再作成が必要となるケースが毎年発生しています

repoEが全て解決します

お客様の負担を減らすためのツールです！

全て
repoEで
完結

報告にしか使わないツールなのに、報告作成のために別のエクセルツール等を併用する必要があります。

分かり
やすい
UI

どこから入力したら良いかわからない、閉じられている表示を開く方法がわかりにくい等、様々な声が上がっています

多拠点管
理向け機
能が充実

元々「工場」が対象の省エネ法をベースに考慮しているせいか、全国に多くの支店を持つ企業には使い辛い構成です

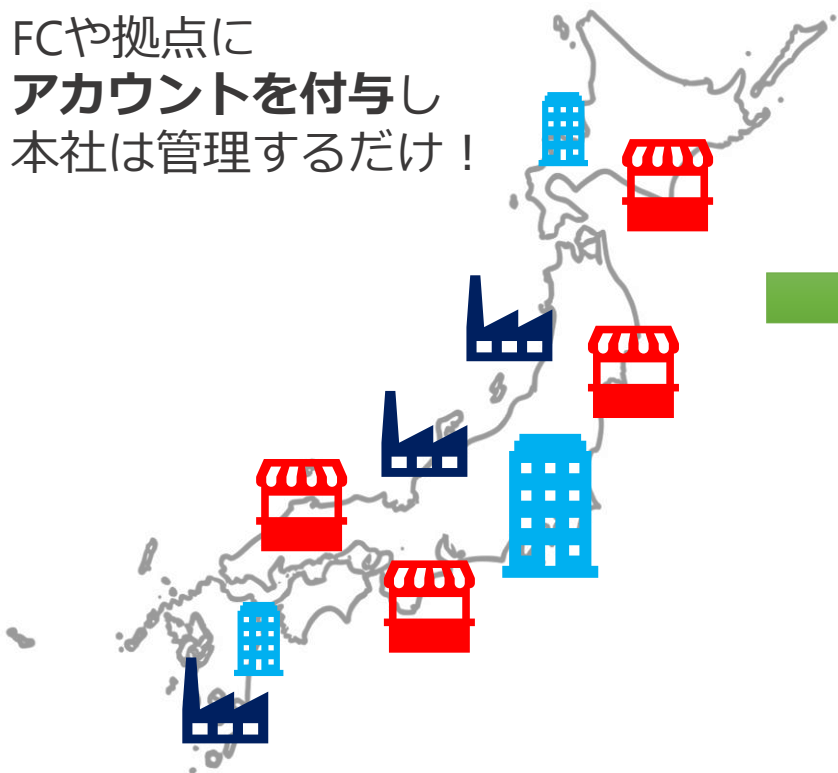
係数は
repoEが
管理

係数変更やバグの修正が入るだけで、再作成が必要となるケースが毎年発生しています

特に「拠点が多数ある」「複数エリアに拠点がある」法人に最適です！

お客様は各拠点の
エネルギー使用量を
入力するだけ

FCや拠点到
アカウントを付与し
本社は管理するだけ！



あとは全て
repoEが勝手に集計します！

省エネ法対応

電力
エリア別
集計

電力・ガス
会社別
集計

業種別
集計

報告数値は全て自動集計

サプライチェーン排出量

Scope別
集計

エネル
ギー別
集計

部門別
集計

Scope1・2は初期状態で利用可

クラウド（AWS）提供型/月額利用のASPサービスです

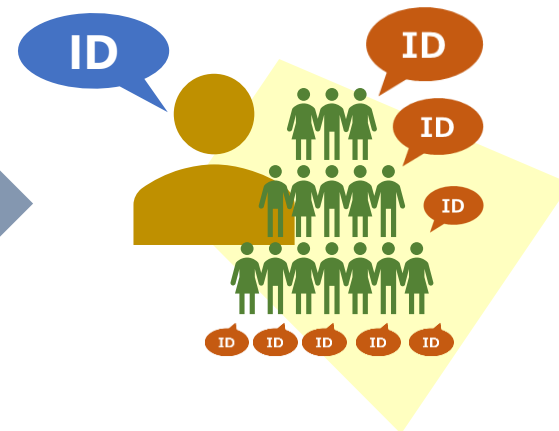


インストール不要！

インターネット環境さえあればいつでもどこでも利用可能！
WEBマニュアルがあり、使い方もカンタン！

個別IDで権限管理

本社と店舗、工場等で個別ID管理！
担当者の変更時はIDの付与のみで対応完了！



月額費用でのご利用

いつでも、最新のソフトウェアをご利用いただけます
(面倒な作業は全てサーバ側で行います)
改修費・入替費用等は必要ありません※

※特殊な機能追加をご希望の場合には、有償でお請けする場合がございます



省工之法・温対法
定期報告書作成機能

とにかく全部、repoEが計算します！

拠点ごとの
月次エネルギー使用量

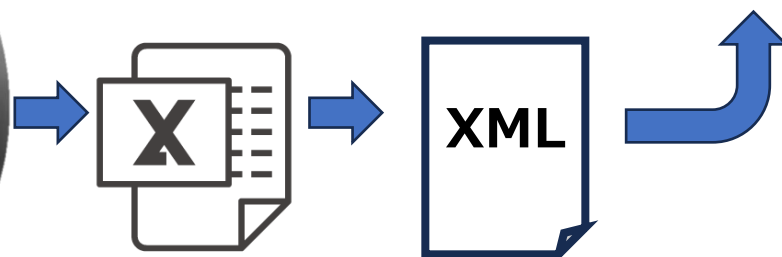
これだけを
入力してください

※入力代行オプションもあります※

拠点ごとの指標
(延床・生産量等)



(EEGS)



- ・増えた理由
- ・昨年との相違点等追記

これ以外の細かな事は考える必要ございません。
これがrepoEの定期報告書作成機能です。

repoEがなかった場合（EEGSで入力する場合）

拠点ごとの
月次エネルギー使用量

拠点ごとの指標
(延床・生産量等)

報告者自身がエクセル等で集計

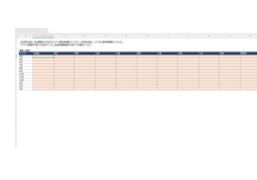
【全ての事業者が行う計算】

- ① すべてのエネルギーを事業分類ごとに集計
- ② ①のうち、電気は電力販売会社毎に集計
- ③ ①のうち、都市ガスも販売会社毎に集計
- ④ 電力販売メニューごとの非化石率もユーザー自身が収集
- ⑤ 指標値も事業分類毎に集計
- ⑥ 電気は①とは別に全社分を「送電エリア毎」に月別で集計

【ベンチマーク対象事業者だけが行う計算】

- ① 全てのエネルギーをベンチマーク対象事業の拠点ごとに集計
- ② ①を熱量換算または原油換算
- ③ ベンチマーク指標に使用する数値を収集

エネルギーエクセルツール群で さらに計算



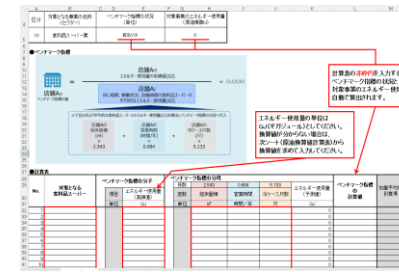
事業種別	単位	電量	非化石割合
401	円/kWh	0.0	0.0
402	円/kWh	0.0	0.0
403	円/kWh	0.0	0.0
404	円/kWh	0.0	0.0
405	円/kWh	0.0	0.0
406	円/kWh	0.0	0.0
407	円/kWh	0.0	0.0
408	円/kWh	0.0	0.0
409	円/kWh	0.0	0.0
410	円/kWh	0.0	0.0
411	円/kWh	0.0	0.0
412	円/kWh	0.0	0.0
413	円/kWh	0.0	0.0
414	円/kWh	0.0	0.0
415	円/kWh	0.0	0.0
416	円/kWh	0.0	0.0
417	円/kWh	0.0	0.0
418	円/kWh	0.0	0.0
419	円/kWh	0.0	0.0
420	円/kWh	0.0	0.0
421	円/kWh	0.0	0.0
422	円/kWh	0.0	0.0
423	円/kWh	0.0	0.0
424	円/kWh	0.0	0.0
425	円/kWh	0.0	0.0
426	円/kWh	0.0	0.0
427	円/kWh	0.0	0.0
428	円/kWh	0.0	0.0
429	円/kWh	0.0	0.0
430	円/kWh	0.0	0.0
431	円/kWh	0.0	0.0
432	円/kWh	0.0	0.0
433	円/kWh	0.0	0.0
434	円/kWh	0.0	0.0
435	円/kWh	0.0	0.0
436	円/kWh	0.0	0.0
437	円/kWh	0.0	0.0
438	円/kWh	0.0	0.0
439	円/kWh	0.0	0.0
440	円/kWh	0.0	0.0
441	円/kWh	0.0	0.0
442	円/kWh	0.0	0.0
443	円/kWh	0.0	0.0
444	円/kWh	0.0	0.0
445	円/kWh	0.0	0.0
446	円/kWh	0.0	0.0
447	円/kWh	0.0	0.0
448	円/kWh	0.0	0.0
449	円/kWh	0.0	0.0
450	円/kWh	0.0	0.0
451	円/kWh	0.0	0.0
452	円/kWh	0.0	0.0
453	円/kWh	0.0	0.0
454	円/kWh	0.0	0.0
455	円/kWh	0.0	0.0
456	円/kWh	0.0	0.0
457	円/kWh	0.0	0.0
458	円/kWh	0.0	0.0
459	円/kWh	0.0	0.0
460	円/kWh	0.0	0.0
461	円/kWh	0.0	0.0
462	円/kWh	0.0	0.0
463	円/kWh	0.0	0.0
464	円/kWh	0.0	0.0
465	円/kWh	0.0	0.0
466	円/kWh	0.0	0.0
467	円/kWh	0.0	0.0
468	円/kWh	0.0	0.0
469	円/kWh	0.0	0.0
470	円/kWh	0.0	0.0
471	円/kWh	0.0	0.0
472	円/kWh	0.0	0.0
473	円/kWh	0.0	0.0
474	円/kWh	0.0	0.0
475	円/kWh	0.0	0.0
476	円/kWh	0.0	0.0
477	円/kWh	0.0	0.0
478	円/kWh	0.0	0.0
479	円/kWh	0.0	0.0
480	円/kWh	0.0	0.0
481	円/kWh	0.0	0.0
482	円/kWh	0.0	0.0
483	円/kWh	0.0	0.0
484	円/kWh	0.0	0.0
485	円/kWh	0.0	0.0
486	円/kWh	0.0	0.0
487	円/kWh	0.0	0.0
488	円/kWh	0.0	0.0
489	円/kWh	0.0	0.0
490	円/kWh	0.0	0.0
491	円/kWh	0.0	0.0
492	円/kWh	0.0	0.0
493	円/kWh	0.0	0.0
494	円/kWh	0.0	0.0
495	円/kWh	0.0	0.0
496	円/kWh	0.0	0.0
497	円/kWh	0.0	0.0
498	円/kWh	0.0	0.0
499	円/kWh	0.0	0.0
500	円/kWh	0.0	0.0

電気需要最適化係数を考慮した電気使用量算出支援ツール



送電エリア	電量	非化石割合
送電エリアA	1000	0.1
送電エリアB	2000	0.2
送電エリアC	3000	0.3
送電エリアD	4000	0.4
送電エリアE	5000	0.5
送電エリアF	6000	0.6
送電エリアG	7000	0.7
送電エリアH	8000	0.8
送電エリアI	9000	0.9
送電エリアJ	10000	1.0

「電気事業者からの買電」における非化石割合計算シート



ベンチマーク対象事業	電量	非化石割合
事業A	1000	0.1
事業B	2000	0.2
事業C	3000	0.3
事業D	4000	0.4
事業E	5000	0.5
事業F	6000	0.6
事業G	7000	0.7
事業H	8000	0.8
事業I	9000	0.9
事業J	10000	1.0

ベンチマーク指標計算ツール

(EEGS)

結果をひとつずつ
EEGSに転記して入力します



結局のところ

「全然EEGSだけで完結しない」のがポイントです。

※1拠点しかない工場運営会社等は例外。↑の集計が基本的に不要なので

報告書作成画面の操作は**わずか4ステップ**でOK！

【Step1】
対象年度等を選択

【Step2】
原単位分母を選択

【Step3】
工場分の
原単位分母を選択

改正省エネ法 定期報告書出力(平成22年度報告～)
※平成22年度報告は11月末日まで、それ以降は7月末日までに前年度のエネルギー使用状況を報告してください

未入力拠点の表示

作成条件

YYYY/MM/DDで入力してください。例:2010/8/3

発行日 報告対象年度

事業所の扱い 

対象となるグループ

事業者全体の報告部分

原単位の扱い 事業者全体 事業分類別

事業者全体で使用する原単位の分母となる値: 単位 人

個別の工場・事業場の報告部分

原単位の扱い

区分	指定工場等の名称	事業別の原単位の分母となる値	単位
第2種	<input type="text" value="本社工場"/>	<input type="text" value="来客数"/>	人

作成開始

【Step4】作成開始ボタンを押下！
これで操作は完了です！ ※



CO2/エネルギー管理機能

様々な換算機能を実装しています

CO2排出量は

充実の3パターン

- ・ 調整前 (温対法)
- ・ 調整後 (温対法)
- ・ **Scope1・2・3** (GHGプロトコル)

※



ほかには
原油換算 (kl & l)
熱量換算 (GJ&MJ)
を実装しています

※GHGプロトコルのScope3は設定が必要です (Scope1と2は初期状態で実装済み・自動計算)

「サプライチェーン排出量算出機能」を実装しています！

Scope 1

「燃料」として使用されるものについて、温対法の係数を用いて算出（社用車のガソリン等も、省エネ法とは区別してカウント）



GHGプロトコル
に準拠して集計します
★★★

Scope 3

GHGプロトコルで定義される「15のカテゴリ」に分類されるCO2排出量を

- ・基本的には直接入力出来るように
- ・ユーザーデータへの入力結果からの演算も反映可能にします。

また、フランチャイズの排出量（Scope 1・2に該当するもの）は自動的に「カテゴリ14」に集計します※フランチャイズ拠点に指定した場合

Scope 2

- ・他者から供給された熱
 - ・電気
- Scope1同様、温対法の係数で算出
環境省公表の係数（調整後）を用いて算出（≒マーケット基準手法）



Scope3の15カテゴリ	
1 : 購入した製品・サービス	8 : リース資産（上流）
2 : 資本財	9 : 輸送、配送（下流）
3 : Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	10 : 販売した製品の加工
4 : 輸送、配送（上流）	11 : 販売した製品の使用
5 : 事業から出る廃棄物	12 : 販売した製品の廃棄
6 : 出張	13 : リース資産（下流）
7 : 雇用者の通勤	14 : フランチャイズ
	15 : 投資

★★★温対法（省エネ法）に準拠したCO2排出量演算機能はもちろんそのまま維持されますのでご安心下さいませ。

便利な入力機能

特徴①

1画面で1年間

の入力が可能です

各拠点の入力担当者の作業は
1画面で完了します！

		東京都											
入力>		統計 拠点 設定											
E		※データの保存:入力後は必ず保存ボタンを押してください。 入力したデータが失われる可能性があります。											
	単位	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
従量使用量	kWh	入力値	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力	東京電力
料金	円	入力値											
備考													

特徴②

エクセルで一括

アップロードが可能です

画面上で手入力するだけでなく
ダウンロードしたエクセルにデータを
転記すれば作業時間が短縮できます



特徴③

演算入力機能

を使って入力できます

例えば
「オーナーから使用量が知らされない」
といった**テナント**入居拠点等で
請求金額を元に**使用量**を割り出す事も可能です
この場合、店舗担当者は毎月の請求額を
入力するだけで済みます

特徴④

メーター読み値

での入力も可能です！

エネルギー使用量の情報が「メーターのみ」という場合も珍しくありません。

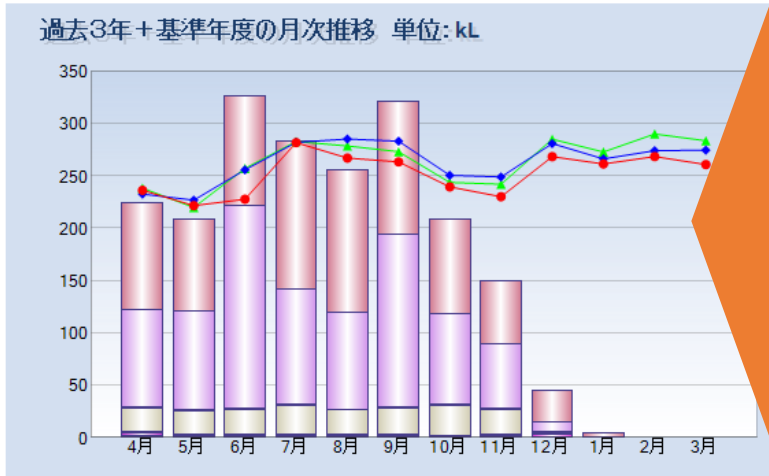
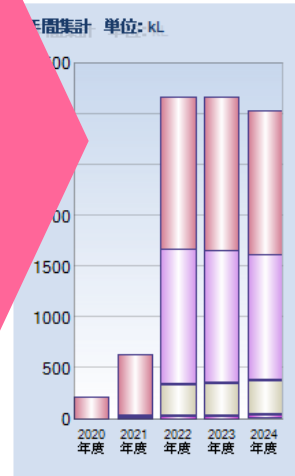
入力担当者には毎月の「メーターの値」を入力してもらいます。
先月との差分を「使用量」に変換するのはシステム任せです。



【便利な画面】統計データ画面

様々な報告で多用される
過去5年度の年間集計値

対象 表示する年度
 表示内容種別 月の表示
 表示内容 Lで表示する
 グループング



積み上げグラフと
過年度折れ線グラフ
で視覚把握

表示内容は全て
CSV出力
可能です

年度別-分類別 CSV出力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気	208	587	1,496	1,501	1,418
揮発油		17	1,319	1,300	1,216
軽油		11	17	19	21
灯油		1	294	304	326
LPガス		0	0	0	0

月別-年度別 CSV出力

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2025年度	224.5	208.9	326.3	283.3	254.8	320.2	208.5	149.1	45.4	3.6		
2024年度	236.0	221.3	227.4	281.5	266.8	263.1	239.3	229.9	268.1	261.2	268.2	260.6
2023年度	232.4	226.6	255.5	281.7	284.9	282.9	250.3	248.7	280.6	266.0	273.8	274.3
2022年度	238.0	219.6	256.9	282.6	278.3	272.9	243.5	241.8	284.8	272.6	289.8	283.3

月別-分類別 CSV出力

総件数: 10件 1/1ページ

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気	102.1	88.6	105.5	142.3	135.9	126.9	90.0	60.4	31.0	3.6		
揮発油	93.1	94.1	192.8	109.7	92.3	163.7	86.4	60.9	8.3			

「わが社のCO2排出量は？」に即答します

CO2排出量は以下の3種類で表示/データ出力が可能です

1) CO2換算（調整前）

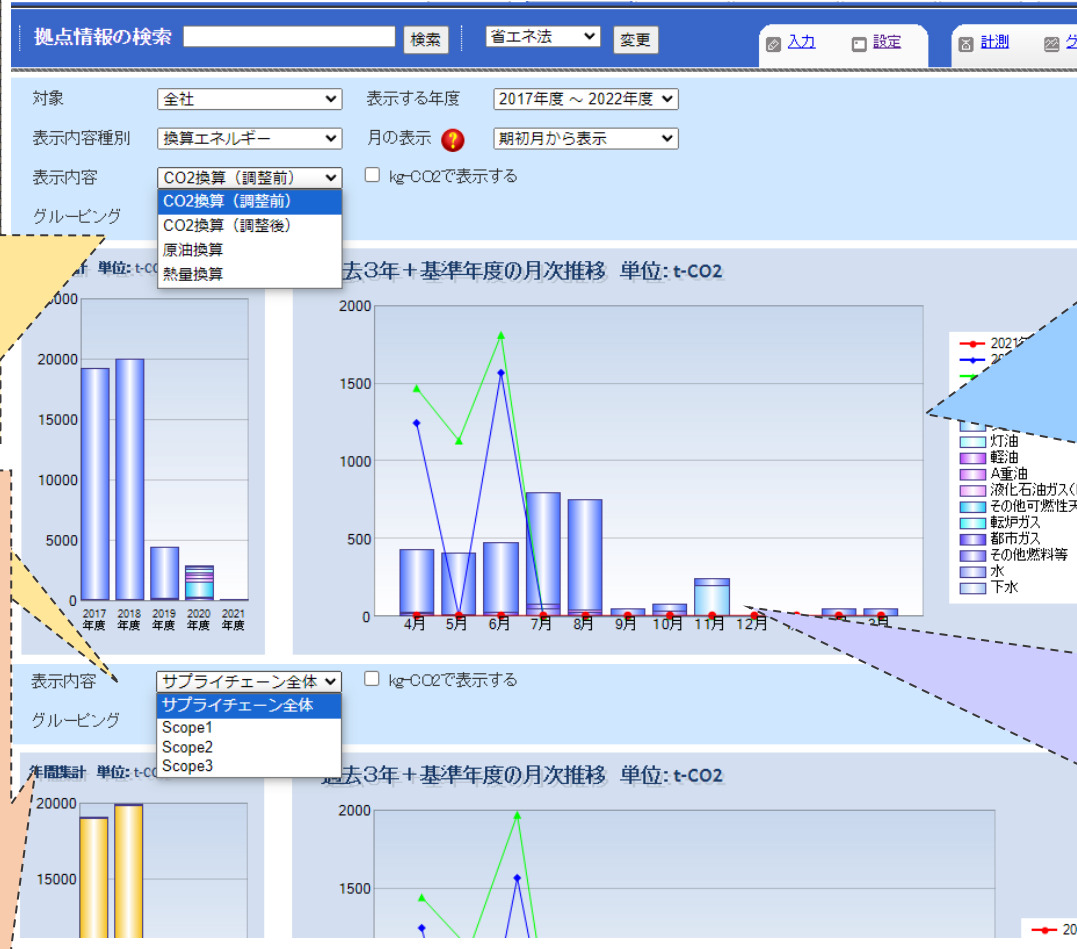
電力会社別の基礎排出係数が反映された、全エネルギーのCO2換算量

2) CO2換算（調整後）

電力会社/契約メニュー別の調整後排出係数を反映

3) サプライチェーン排出量

Scope1・2・3及び全体



CO2排出量以外のデータも表示/出力が可能です

1) 各種換算値

・熱量換算 ・原油換算

2) 各エネルギー

省エネ法で定義されるエネルギーはもちろん、全ての登録データをグラフ化、CSV出力できます

3) 各種原単位

登録した任意データとエネルギーの相関を表す「原単位」も自動で演算します

色々な分類方法で表示/出力が可能です

1) エネルギー別

自社のCO2排出量における、各エネルギーの重みもすぐにわかります

2) 拠点別

それぞれの拠点ごとのCO2排出量等もすぐにわかります

3) グループ別

部門・エリア・業種/業態、あるいはHD配下の法人別などなど、任意に設定したグループごとのCO2排出量もすぐに確認できます。

入力を徹底すれば、**現状把握**できます。

CO2の排出状況を確認するのに、なにも1年が締まるまで待つ必要はありません。

1年の途中で計画を見直す事も重要です。

サプライチェーン排出量・エネルギーコストも見える化されます

販売価格

		ライトプラン	ベーシックプラン	バリュープラン
向いているお客様		1拠点～数拠点 で、省エネ法等の対象外	指定工場など 大規模施設 をお持ちの法人	多拠点・大規模 など管理点数の多いお客様
主なご利用目的		CO2排出量把握及び報告など	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量把握 省エネ法対応 など	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量把握 省エネ法対応 問題拠点の把握 など
機能	省エネ法定期報告書作成機能	×	○	○
	アカウント数	拠点数+1 まで	拠点数×5まで	無制限
	グループ機能	1種類のみ利用可能	無制限	無制限
初期費用		0円	10万円	20万円
ご利用料金		1拠点あたり 1,000円/月	1拠点あたり 5,000円/月	基本料金： 50,000円/月 <small>※基本料金に100拠点まで含む ※101拠点目から1拠点あたり500円/月で加算 ※200拠点超でディスカウントあり（別途お見積）</small>

主な機能一覧

No.	機能名	内容
1	Topページ	■統計データ、目標管理、ランキング等をTopページに表示設定可能 ■Topページの内容をエクセルファイルとして出力可能
2	各種設定機能	■拠点追加 ■入力欄追加 ■グループ設定追加 など、設定権限があれば自由に追加・変更可能
3	データ入力	■入力画面による手入力 ※備考コメント入力機能あり ■データ入力エクセルによるデータアップロード機能 ※（複数拠点／一か月）or（1拠点／複数月）
4	統計データ（統計分析）	■エネルギー使用量／ユーザーデータ等入力値の集計表示 ■換算値：原油・熱量・CO ₂ 換算（調整前・調整後）表示 ■原単位演算結果 ■サプライチェーン排出量演算・出力機能 ■統計データページ表示データのCSV出力機能
5	演算／換算機能	■ユーザーデータ演算結果をエネルギーデータに設定可能 ■ユーザーデータ演算結果をユーザーデータに設定可能 ■エネルギーデータは熱量、原油、CO ₂ 換算値へ自動演算
6	目標管理/ランキング	■省エネ目標（前年度比〇%削減）の目標達成ランキング ■総量・増減率のランキング
7	定期報告書（省エネ法）作成	■定期報告書【特定】及び【指定】の自動作成 ■グループ階層別定期報告書作成 ■閲覧権限範囲内定期報告書作成
8	未入力アラート機能	■データ未入力拠点へのアラートメール発報設定
9	CSV出力	■各入力項目の月次データ出力 ■全拠点データ出力 ■「統計データ」画面表示項目のCSV出力



品質駆動で
お客様の影のように寄り添い
ITの悩みを解決します